

記念祭を迎えて

学校長 前 川 誠 一

「秋の気満つる神無月、ああめぐりくる記念祭」若き日の感激に酔い青春の血をわかせた幾多の卒業生、次々と法灯は継承されて今や第11回の記念祭を迎う。全校生の感激と欣喜蓋し甚大なるものがあろう。

およそ自主性と創造性は教育における基本的な原理である。自主のあるところ積極的な活動と旺盛な責任感が生れてくる。創造のあるところ常に生活の喜びと文化の進展が見られるのである。市民社会においては人生最大のゴールは仕事の達成であり、またこれに付随すると信ぜられている世間的な評価即ち成功であると考えられている。この考え方には勿論全面的に賛意を表することはできないが、仕事に対する意欲と熱意は尊重すべきであると思う。

記念祭は生徒の主体的な企画と運営に依存するところが頗る大であり、そのためにこそ高い価値がある。仕事の達成に青年らしい一徹な意欲と熱意が遺憾なく発揮されて敬服させられるのである。

そもそも祭は日々にいそむ生業の区切りを画するレクリエーションの役割をも果すものである。生徒諸氏は各自学生たる本分を忘れることなく大いに記念祭を楽しみ、高校時代のよき思い出となすことを望んでやまない。

副会長 齋 藤 貞 幸

過去に幾多の先輩によって作り上げられはぐくまれてきた記念祭も今年で11回の多きを数えるにいたり、創立19周年及び自治会発足11周年を記念して9月30日より向う5日間の閉幕のはこびとなりました。

今年は工事で中館が使えないなどの関係から一時は中止かとまで一部でうわさされながらも例年のごとく開催できるようになったことは真に幸運なことといわねばなりません。

また毎年叫ばれている全員参加を今年こそは実現したいと思ひ各クラスから記念祭委員を1名づつ選出して頂き、この方達と力を合わせて努力してきたつもりです。そして、またここに初めての試みとして合唱コンクールを計画したのです。

そもそも記念祭とは、われわれ学生の日頃の自治会活動の結集であるとともに、日頃親しむ機会の少ない高度の芸術に接して一般的な教養を高めるものであると思います。と同時に出演者と観客が一体となってはじめてりっぱな記念祭ができるのであるから観客の態度云々されつつある現在、観客の諸君はもちろんのこと、出演者の諸君にも常に規律ある節度ある態度をもって、記念祭にのぞんで頂きたいと心より願う次第であります。

芦屋高等学校創立19周年

第 11 回

記 念 祭

9月29日(火)	前	夜	祭
9月30日(水)	体	育	祭
10月1日(木)	鑑	賞	会
	招	待	音
	合	唱	音
10月2日(金)	校	内	音
	文	化	祭
10月3日(土)	文	化	祭
10月4日(日)	文	化	祭
	終	幕	祭

兵庫県立芦屋高等学校自治会

第14回 体 育 祭

9月30日(水) 於 大運動場
雨天 10月5日(月)

開 会 宣 言

I 開 会 式8:30

生徒入場
校歌斉唱
学校長挨拶
自治会長挨拶
宣誓

II 演 技9:00

- 1 全校体操.....全 員
- 2 100 m 予 選.....各組 男女1名
- 3 200 m 予 選.....各組 男女1名
- 4 スプーン・レース.....2 年 女 子
- 5 棒 取 り.....1 年 男 子
- 6 五種目決勝 400m.....予選通過者 6名
- 7 三 人 四 脚.....1 年 女 子
- 8 3000m スタート.....各組 男子1名
- 9 ドリブル競走.....3 年 女 子
- 10 3000m ゴール
- 11 騎 馬 戦.....3 年 男 子
- 12 障 害 物 競 走.....2 年 男 子
- 13 徒 手 体 操.....1 年 男 子
- 14 三、五種目決勝 100m.....予選通過者 男女各6名
- 15 100 m 決 勝.....予選通過者 各学年6名
- 16 200 m 決 勝.....予選通過者 各学年6名
- 17 借 物 競 走.....3 年 女 子
- 18 タ ン プ リ ン グ.....2 年 男 子

食

仮 装 行 列

- 19 体 操 部 演 技
- 20 器 楽 部 パ レード
- 21 運 動 部 行 進
- 22 対 部 リ レー 予 選

- 23 リズム体操.....2.3 年 女 子
- 24 百 足 競 走.....3 年 男 子
- 25 1500m 競 走.....各組 男子1名
- 26 綱 引 き.....1 年 女 子
- 27 スエーデン・リレー.....各組男子 4名
- 28 灯 台 下 暗 し.....1 年 男 子
- 29 対 部 リ レー 決 勝
- 30 棒 倒 し.....2 年 男 子
- 31 綱 引 き.....3 年 男 子
- 32 来 賓・職 員 演 技
- 33 クラス対抗リレー.....各組男女 4名

III 閉 会 式3:30

成 績 発 表

賞 品、賞 状 授 与

総 合

五 種 目.....市 長 杯

三 種 目

男 子 200 m.....市教育委員会長杯

女 子 100 m.....自治会長杯

1500 m.....学 校 長 杯

3000 m.....同 窓 会 長 杯

対 部 リ レー.....育 友 会 長 杯

応援・仮装行列.....執行委員会賞

運 動 部 長 挨 拶

学 校 長 所 感

自 治 会 歌 斉 唱

閉 会 宣 言4:00

紅 白 組 分 け

	紅	白
1 年	A・B・C・D・E	F・G・H・I・J
2 年	A・C・D・G	F・H・I・J
3 年	A・D・G・H・J	B・C・E・F・I

なお紅白に分けて行なう種目は棒取り(1年男子)、騎馬戦(3年男子)、綱引き(3年男子、1年女子)、棒倒し(2年男子)の各種目である。

種目の解説

・スウェーデン・リレー

100m・200m・300m・400mと順番に走る距離が長くなる。それだけに走る距離にそくした選手が出られ最後まで予断を許さないリレーである。

・女子200m

今や女子800mも行われる陸士界である。芦高女子の耐久力を試そう。

・男子100m

人間の全力を瞬間につくせるこの種目である。どれだけ記録が出るだろうか。

・三種目

男子五種目に対しての種目である。走巾跳、100m、砲丸投の跳・走・投の三拍子そろった体力の持主は誰か。

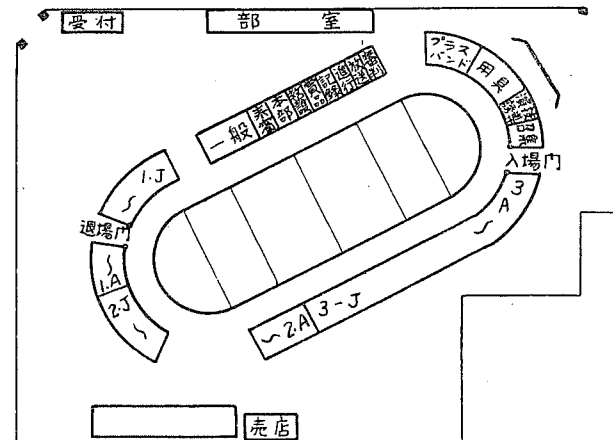
・器楽部パレード

楽器の揃ったのを機会に、部員の努力により3ヶ月の練習、どれだけやれるか。期待したい。

得点表

種目	一	二	ク	一・二・三 年のみ得点種目 スウェーデン リレー	千 二・三 年のみ得点種目 五 百	三 年のみ得点種目 千	百足競走 障礙 物走	競 リブル 走 ス プ リ ン ス	騎 馬 戦	綱 引 き	(合 計)
	米	米	抗	リ	米	米	灯 暗 台 下 し	三 人 四 脚	棒 取 り	綱 引 き	
満点	12	12	12	6	6	6	6	6	3	3	72 48 72
各得 クラス 点											

会場略図



スポーツ用品
写真材料DPE
室内遊戯品

オリンピック

阪急夙川西宮市寿町
TEL 西宮③ 5416
代表者 井上克己 (芦高3回卒)

鑑賞会

古典芸術—狂言—特別鑑賞会

10月1日(木) 1回目—9時30分 於 講堂
2回目—11時



茂山忠一良



茂山幸四郎

曲 目—文相撲 薩摩守

出演者(1回目)

文相撲

大名—茂山忠一良
太郎冠者—茂山幸四郎
とり手—茂山喜三

薩摩守

出家—茂山幸四郎
茶家—茂山忠一良
船頭—茂山喜三

2 回 目

文相撲

大名—茂山喜三
太郎冠者—茂山孝夫
とり手—茂山幸四郎

薩摩守

出家—茂山孝夫
茶家—留川多三夫
船頭—茂山忠一良



茂山喜三



茂山孝夫

曲目内容

薩摩守

諸國行脚の僧が茶代を持たなかったが、茶屋の亭主が茶代をまけてやった上に、近くの神崎の渡し船に乗るために「秀句」を教える。そこで渡し船に乗ることが出来たが、「秀句」の心を忘れてしまい、恥をかく。中世にはやった「連歌」——「秀句」の面白さと、渡し船をあらわす演技が見ものである。

文相撲

貧乏な大名が新参者を抱え、その男を相手に相撲を取る。危うくなった時、おもむろに横から相撲の秘伝書を出して見るが、まんまと倒される。大名が見栄をはって空威張りするのが面白く、実力のない人間を皮肉っている。

狂言説明

わが國の演劇は、猿楽という底流の上に、中世以後「延年の能」としてあらわれたり、「田楽の能」や「猿楽の能」という「能芸」として現出したりしている。そしてこれらの何れの演技にも真面目なものと、滑稽なものが存在していた。その後者の方が狂言である。そしてこの頃の狂言が現代の喜劇の起源である。狂言は、最初は即興的なことで何人をも笑わせる技を主体としていたが、後段々と芸の要素を取り入れ、そして演劇的なものに接近して来た。その後年が経つにつれて、「言葉」「動作」「効果」が流動し、その曲目も段々と増し、また減少していった。今日現在まで確実に伝えられているのは約350番である。



文相撲 大名が相撲の取組み最中に秘伝書を読む。



薩摩守 出家が茶屋で茶を飲むところ(座っているのが船頭)

招待音楽会

ハーブ ヨゼフ・モルナール

チェロ 吉田 貴 寿

ピアノ伴奏 塚 本 保 子

10月1日(木)午後2時 講 堂

- | | | |
|-----|-----------------------|------------------|
| I | チェロとハーブ：ソナタ | ヴィヴァルディ |
| II | ハーブ：1) ヘンデルの主題と変奏 | ベートーヴェン |
| | 2) ガボット | サルツェド |
| | 3) ハープ幻想曲 | ルイ・スポア |
| III | チェロとハーブ：コールニドライ作品47 | ブルッフ |
| IV | チェロ：スペインの歌 | ニ ン |
| | 1) モントネーシャ | |
| | 2) トナダムルチャーナ | |
| | 3) サエタ | |
| | 4) グラナディア | |
| | 悲歌作品24 | フォーレ |
| V | ハーブ：1) 泉 | |
| | 2) 「ルチア」よりハーブの為のカデンツァ | |
| | 3) シューベルトファンタジー | ドニゼッティ
シューベルト |
| VI | チェロとハーブ：1) 白 鳥 | サンサーンス |
| | 2) スパニッシュセレナーデ | グラズノフ |
| | 3) トロイメライ | シューマン |
| | 4) ミュゼット | J. S. バッハ |

演奏者紹介

ヨゼフ・モルナール

1929年7月ウィーン近郊のゲンザンスドルフに生まる。6才の時よりピアノを習い、10才の時、ウィーン少年合唱団に入団、ウィーン音楽学校在学中、ハーブをイェーリネック教授に、同時に声楽をアルフレッドワール教授に学ぶ。1950年ウィーン音楽学校卒業後、ザルツブルグ音楽祭に出演また、ルーツウエン、ローマ、ウィーンなどの演奏会や放送に活躍し名声を博した。1953年NHKの招待でN響のハーピストとして来日、55年に一度帰国して再び来日。現在ABC交響楽団に所属するとともに東京芸術大学講師として、わが国の数少ないハーピストの育成にも努力している。



吉田 貴 寿

昭和8年日本音楽学校卒業後、大阪放送交響楽団入団以来モグレフスキー絃楽四重奏団を経て、戦後友人数名とともにラモー室内楽団を組織するかたわら独奏、三重奏、四重奏と活躍した。昭和28年外務省私費留学生として渡欧、フランスではモーリス・マレシャルに個人教授を受け、イタリアのフローレンスではガスパル・カサドについて演奏法および教授法を学び、特にシエナにおけるアカデミア・キジャーナのカサド公開講座に3年間出席し、イタリア各地にて演奏会及びテレビ等に出演した。32年帰国、帰国後東京にて帰朝



演奏会を開催し、その後ラジオ、テレビにも活躍を続けている。

塚 本 保 子

神戸女学院音楽部ピアノ科本科および研究科卒業。6才より窪谷キク氏についてピアノを始め、後フツエフ氏、原智恵子氏に師事。ジョイント・リサイタルおよび関響との協演等の他、ラジオ、リサイタル、テレビ等に出演している。

現在、神戸女学院大学音楽学部ピアノ科講師。

校内合唱コンクール

本選……………10月2日8時30分 於：講堂
予選……………9月22日(火)

〔クラス〕	〔曲名〕	〔伴奏者〕	〔指揮者〕
1年A組	{旅 愁 (斉唱) 雪 山 讃 歌 (混2)}		矢上 硬 一 郎
B組	{と も し び (混2) バルカンの星の下に (混2)}		西 藤 渥 子…桑 江 康 一
C組	{も ず が 枯 木 で (混4) ひ が ば り (混3)}		福 谷 進 一 郎…小 泉 考 之
D組	{赤 と ん ぼ (混2) オ、ブレネリ (混2)}		北 山 隆
E組	{箱 根 の 山 (混2) 鉄 道 唱 歌 (斉唱)}		近 藤 一 夫
F組	{よ く ば り が ち ょ う (斉唱) 雪 山 讃 歌 (混2)}		野 口 晶 子…川 越 ひ さ 子
G組	{や し の 実 (斉唱) 森 の 水 車 (混2)}		藤 田 由 美 子…松 谷 光 子
H組	{旅 ト ロ イ 愁 (混2) カ (斉唱)}		鈴 木 正 子…高 村 弘 而
I組	{旅 静 かな 湖 愁 畔 (斉唱) (輪唱)}		広 江 正 彬
J組	{七 つ の 子 (輪唱) 雪 山 讃 歌 (混2)}		沼 野 順 子…移 川 満 也
審 査 員	出口先生、奥田先生、津本先生	3 学年審査員10名	
2 年	予 選……………9月23日(木)		
2年A組	{泉 の ほ と り (混2) 仕 事 の 歌 (混2)}		中 本 晴 信
B組	{夏 野 の 思 い 出 ら (女3) (混2)}		大 村 浩 子…水 谷 雅 子
C組	{村 カ プ の り 娘 島 (斉唱) (混3)}		三 木 良 江…中 島 正 弘
D組	{う る わ し の 夢 (混2) 春 (混2)}		徳 矢 汎 子…西 村 功
E組	{お っ 牧 場 は 緑 (斉唱) 仕 事 の 歌 (混2)}		山 村 建 充

〔クラス〕	〔曲名〕	〔伴奏者〕	〔指揮者〕
F組	{花 小 学 唱 歌 迎 曲 (女2) (混2)}		吉 田 絃 子
G組	{雪 山 讃 歌 (男2) フエクリ・フエクラ (混2)}		高 垣 博
H組	{花 カ ナ リ ヤ (混2) (混2)}		芳 川 真 知 子…伊 藤 洋
I組	{バイカル湖のほとり (混2) コロラドの月 (混2)}		千 葉 学
J組	{真 白 き 富 士 の 嶺 (混2) と も し び (混2)}		小 俣 公 子
審 査 員	出口先生、千葉先生、吉川先生	1 学年審査員10名	
3 年	予 選……………9月25日(金)		
3年A組	{旅 チ ュ ー シ ョ 愁 (混3) お っ 牧 場 は 緑 (混2) (混2)}		伊 庭 香 世 子…鶴 本 絃 子
B組	{シ ュ フ ジ ベ ュ チ カ (混2) 五 木 の 子 守 歌 (斉唱) ど じ ょ っ こ ふ な っ こ (混2)}		松 木 光 永…水 田 洋 子
C組	{泉 の ほ と り (混2) 河 は 呼 ん で る (混3)}		黒 田 陸 子…毎 野 正 絃
D組	{谷 間 の 灯 (混2) 南 国 土 佐 を 後 に し て (混2)}		三 浦 泉…池 尻 史 郎
E組	{バルカンの星の下に (斉唱) 雪 山 讃 歌 (混2)}		泊 口 邦 子…西 川 増 三
F組	{ス テ ン カ ラ ー ジ ン (混3) 雪 山 讃 歌 (混2)}		西 山 俊 一
G組	{ト ロ イ カ セ (混2) 通 り ヤ ん せ (混2)}		木 田 倫 子…宏 林 秀 顕
H組	{赤 と ん ぼ (混2) お っ 牧 場 は 緑 (斉唱)}		長 沢 朋 子…奥 田 先 生
I組	{泉 の ほ と り (斉唱) 草 薙 馬 (混2)}		仁 紫 明 人…渡 辺 昭 寿
J組	{ウ ェ ー ジ ニ ア (混2) いとしの (輪唱) ク イ レ メ イ ン タ イ ン (混2)}		田 中 千 里…津 村 雅 一
審 査 員	出口先生、谷川先生、川村先生	2 学年審査員10名	
職 員	{植 生 の 宿 (混2) 静 け き 森 (混2)}		津 本 先 生
1.	審査委員長は出口先生、10月2日の本選の時は各学年主任の先生と、奥田先生、生徒審査員30名とで行います。		
2.	予選のときも本選のときも最初に、代議員と有志による基準コーラスを行います。		
3.	予選で各学年6位まで入選とし、そのクラスと職員有志1チームが本選に出場致します。		

校内音楽会

10月2日(金)午後12時30分 於講堂

1. 校歌、自治会歌、記念祭歌斉唱.....全 員
2. 吹奏楽.....演奏 器楽 部
指揮 岸 真 六 郎
行進曲「祝典行進曲」 団 伊 玖 磨作曲
「剣と槍」 シュタルケ作曲
3. 混声合唱.....合唱 コーラス 部
指揮 植 木
世界民謡めぐり
祇園祭 日 ロ シ 本民謡
行商人 ヤ民謡
マドロスの歌 マ ド ロ ス イ ツ 民謡
静けきよみやみ 静 け き よ み や み チ リ 一民謡
深い河 深 い 河 黒 日 人 謡 歌
木曾節 木 曾 節 日 本 民 謡
4. 琴合奏.....合 奏 箏 曲 部
フルート 北山 隆
荒城の月変奏曲 滝 廉 太 郎 作 曲
春のおとずれ 宮 城 道 雄 作 曲
5. 独 唱.....独唱 紀 木 俊 正 子
伴奏 鈴 木 正 子
メリーウィドウより「ピリア」レ ハ ー ル 作 曲
さらばナポリ ナ ポ リ 民 謡
6. ピアノ独奏.....独奏 白 井 素 子
ソ ナ タ ベ ー ト ー ヴ ェ ン 作 曲
7. ハーモニカ合奏.....合奏 3 年 生 有 志 子
伴奏 泊 口 邦 子
ヴォルガの舟歌 ロ シ ヤ 民 謡
禁じられた遊び ス ベ イ ン 民 謡
ドナウ川のさざ波 イ ヴ ァ ノ ビ ャ ッ チ 作 曲
エリーゼの為に ベ ー ト ー ヴ ェ ン 作 曲
8. 独 唱.....独唱 戸 沢 晴 子
伴奏 田 中 万 里 子
かやの木山 山 田 耕 作 作 曲
鱒(ます) シ ュ ー ベ ル ト 作 曲
9. ヴァイオリン独奏.....独奏 高 垣 雅 博 子
伴奏 西 村 雅 博 子
協奏曲・イ短調・1楽章 ヴ ィ ヴ ァ ル デ ィ 作 曲
ソナタ「ギガ」 ベ ラ シ ー ニ 作 曲
10. 男声合唱.....合唱 コーラス 部
柳 河 多 田 武 彦 作 曲
ヴォルガの舟歌 ロ シ ア 民 謡

11. ピアノ独奏.....独奏 福 谷 進 一 郎
ソナタ「ワルトシュタイン」 ベ ー ト ー ヴ ェ ン 作 曲
第1楽章
12. 独 唱.....独唱 長 瀬 孝 子
伴奏 青 木 洋 子
歌のつばさ メ ン デ ル ス ゾ ー ン 作 曲
君よ知るや南の國 ト マ 作 曲
13. 琴 合 奏.....合奏 箏 曲 部
富士の高嶺 宮 城 道 雄 作 曲
明日・水滴 "
14. トランペット二重奏.....演奏 佐 川 徹 造
伴奏 伊 藤 順 香 世 子
トランペット吹きの子守唄 ア ン ダ ー ソ ン 作 曲
「アイーダ」より ヴ ェ ル デ ィ ー 作 曲
15. 独 唱.....独唱 山 口 九 一 子
伴奏 黒 田 睦 子
城ヶ島の雨 梁 田 貞 作 曲
マリア・マリ ナ ポ リ 民 謡
16. ピアノ独奏.....独奏 竹 永 元 子
華かなる円舞曲 シ ョ ー バ ン 作 曲
即 興 曲 "
17. 女声合唱.....合唱 コーラス 部
指揮 鶴 本 紘 子
夏の思い出 中 田 喜 直 作 曲
ぶらんこ "
18. フルーツ独奏.....独奏 北 山 晶 子
伴奏 野 口 晶 子
アルルの女より ビ ゼ ー 作 曲
ソナタ「ポロネーズ」 ベ ー ト ー ヴ ェ ン 作 曲
19. 独 唱.....独唱 若 本 明 志
伴奏 福 谷 進 一 郎
アマリリ麗し カ ッ チ ー ニ 作 曲
悲しみ ト ス テ ー 作 曲
20. ヴァイオリン独奏.....独奏 登 坂 美 智 子
伴奏 竹 永 元 子
ノクターン シ ョ ー バ ン 作 曲
ロンド シ ュ ー ベ ル ト 作 曲
21. ピアノ独奏.....独奏 吉 田 ナ ナ 子
ハンガリアン・ラブソデー リ ス ト 作 曲
22. 混声合唱.....合唱 コーラス 部
指揮 直 木 菅 督
うぐいす メ ン デ ル ス ゾ ー ン 作 曲
なだれ 下 総 皖 一 作 曲
お爺さんの古時計 ウ オ ッ ク 作 曲
23. 吹奏楽.....演奏 器 楽 部
指揮 佐 川 徹 造
描写曲「ベルシヤの市場にて」 ジ ョ ン ソ ン 作 曲
序 曲「大賞牌」 ケ テ ル ビ ー 作 曲

曲 目 解 説

器 楽 部

☆ 行進曲 『祝典行進曲』

皇太子殿下の御成婚の盛儀に際して、岡伊玖磨氏が作曲した曲です。元来健康的であるはずの行進曲がわが国ではその歴史が常に軍隊と結びついていたために戦闘的な主題に限られたものが多く、躍動的な明かるい行進曲は甚だ少なかったようですが、この曲は平和な明かるさと気品を持ち、今の世の中にマッチする格調高い行進曲という願いと、お祝いという意味も含めて創られたものです。

☆ 行進曲 『剣 と 槍』

ヘルマン・シュタルケの原曲を三戸知章がプラス編成に編曲したものです。元来行進曲はとくに高音部が中心になるところを、この曲は中音部低音部入りまじってシンフォニー風の大規模な編成となっています。特に高音部のリズムに中音部のメロディーを奏する所などは非常に美しく、技術的にはそれだけむづかしくはありますが、鑑賞用の行進曲としては真にふさわしいといえましょう。

☆ 描写曲 『ベルジャの市場にて』

この曲はケテルビーによって作曲され、古くから名曲として多くの人々から親しまれて来た描写曲です。ある日、ベルジャ村路へラクダに乗ったキャラバンがやってきて市を開きました。珍しい曲芸や蛇使いに人々は集まり、美しい王女も立ちどまります。東洋的な笛の旋律で踊る五色の蛇。突然やってくる回教主のため見世物は中断されますが、回教主が遠ざかると、乞食達の叫び声もきこえ、再び市場は騒しくなり、王女もまた市場から遠ざかって行くという情景です。ベルジャの市場の情景を頭に描きながら聞いて下さい。

☆ 行曲 『大 賞 牌』

この曲の構成は簡単ではあるが非常にメロディックにできており、堂々とした導入部の行進曲は、名譽をあらわすかの如く雄壮で、ついで快活潑濶なワルツに変わり、更に抒情的な旋律のアンダンテがこれに続いています。忽然として楽しい元気な行進曲となり、盛り上がった興奮の内に曲は終ります。

コーラス部（混声合唱）

☆ 世界民謡めぐり

世界一周ができれば！ それは皆さんの夢だと思います。その切なる願いを世界の国々の民謡に託して、さあ世界一周の旅に出かけましょう。ふりだしは日本の古都京都の町、それも祇園祭で有名な祇園です。祭のにぎやかさ雄雄さを「コンコンチキチン、コンチキチン」と、山鉦の鉦の振声で軽快に歌う歌「祇園ばやし」が聞こえてきました。いよいよ日本を出発です。……ここは「ともしび」や「トロイカ」等多くの民謡で親しまれる北の国シヤ。黒い瞳の若者達がロシア民謡「商人」を歌っています。どこかで聞いたことがある曲と思ったら、サークル・ダンスでおなじみの「コロブチカ」でした。

ドイツの国では青年達が元気に歌う歌「マドロスの歌」をお聞き下さい。さて、今度は南アメリカはアンデス山脈の西側の国チリへやって来ました。南の国の静かな夜の景色、美しい星空を眺めながら、夜の静かな愛を歌った「静けきよいやみ」にそっと耳を傾けて下さい。……新しい国アメリカ。その国の初期において白人に苦しめられた黒人達は多くの優れた名曲を残していますが、その中で最も親しまれている歌「深い河」をどうぞ。……おや、もう日本へ着いたようです。それでは数多い日本民謡の中から懐しい「木曾節」を歌ってこの旅を終わらしましょう。「木曾のなあ、仲乗りさん、木曾の御岳さんはなんじやらホイ。夏でも寒いヨイヨイヨイ、ヨイヨイヨイのヨイヨイヨイ。」と。

☆ 「うぐいす」

メンデルスゾーンの合唱曲の内でのこの曲は最も有名なもので、本年度毎日コンクール課題曲に決定しています。最初ソプラノとアルトのデュエットで始まり、男声と同じ旋律で追いつけるかけあいの美しさに特に耳を傾けて下さい。

☆ 「なだれ」

「峰の雪がさけ、雪がなだれる。そのなだれに熊が乗っている。あぐらをかき、あんかんと、煙草を吸うような恰好で。そこに一匹熊がいる。峰の雪がなだれる。熊が居る。」と、不協非言の連続によって、なだれの恐ろしさを一層強く感じさせます。

コーラス部（男声合唱）

☆ 『ヴォルガの舟歌』

大ロシアを横断して流れるヴォルガは、幾多の伝説と詩と音楽とを生みしました。この力強い曳舟人夫の唄は蓋しその中でも出色のもので、世界中の人々が知っています。ロシアの代表的な歌手や楽団、例えばシリアピンとか、ドン・コサック合唱団とか、ラッパン、シンフォニック・クワイヤ、それにバラライカ・オーケストラに至るまで、このヴォルガの舟歌を演奏しない時はありません。

☆ 『柳 河』

柳河風俗詩は白秋の詩集「愚い出」から選ばれた詩による4つの小曲をまとめた組曲で今回はその内で一番最初の曲「柳河」を唱います。曲は今はずたれてしまった古い城下町と、今でも昔の姿をとどめているほり割と白い土蔵を背景に、東洋的な感傷をこめた白秋の世界をそのまま生かした、哀愁を盛った作品です。

コーラス部（女声合唱）

☆ 『ぶらんこ』

「いっばいに咲いた桜の木の下で、ひっそりとぶらんこは楽しかった一日を思い出します。今頃、あの子は夢路をたどっていることでしょう。」女声合唱を愛する中田喜直氏の代表的な作品の一つで、淡い春の夜の風景を思わせてくれます。

☆ 『夏の思い出』

この曲も中田氏の作品の一つで、古くから親しまれて来ました。どこか静かな田舎の風景を思い出しているのでしょうか。女声特有のやわらかなハーモニーを持って、この曲の持つ優しさをあらわすよう努力しました。皆さんもほらかな尾瀬を思い出してお聞き下さい。

箏 曲 部

☆ 『荒城の月夜奏曲』

滝廉太郎の「荒城の月」が箏曲のために編曲されたものです。先年演奏しました宮城道雄氏編曲のものとは大変趣を異にしています。「荒城の月」は身近に親しまれている曲だけに、多く編曲されていますが、箏曲での演奏もこの機会に充分味わって下さい。

☆ 『春の訪れ』

春に先だちさえずる小鳥の声にヒントを得て、宮城道雄氏が作曲していますが、いかに春らしい気持が表現されています。洋楽での調べ……例えばト長調等……に当るもので箏曲にも調子というものがあつた、この曲は響井調子といひ、大変優雅で柔らかな感があります。今回は尺八でなくフルートとの合奏ですが、琴と洋楽器との調和の美しさは、お聞きになって初めて納得されると思います。

☆ 『富士の高嶺』

「駿河なる富士の高嶺は、朝見れば姿よき山、夕見れば景色よき山、春の日は霞もよし秋の日は晴るもうれし、夕づく日沈みしちのち、大空にたれかきけん、くれないに涙き紫に、うすずみにかわるもすごし、富士の高嶺はくすしき山、うつつき山。」

☆ 『明 日』

安積得也氏の作詞によるこの曲は、われわれに明日の期待を寄せるといった内容です。皆様には耳新しい曲だと思いますが、この小品の中にも宮城道雄氏独自の和音や伴奏がふんだんに取り入れられています。また唄と楽器との邦楽独特の調和もこの曲ではよく出ています。

☆ 『水 滴』

雨だれから連想されたリズムカルで華かな曲です。この曲にも宮城氏のテクニックが所々に用いられ、楽しく聞ける曲にはリズムカルなものが多いのですが、これは特にテンポが速く、「てまり」と同様大変馴染み易い曲です。1、2番共メロディーも歌詞も同じなのですが、微細な差異がありますからよくお聞き下さい。

第13回 文化祭

10月3、4日(土、日) 午前8時40分 於 講堂

I 開 会

開会宣言

- | | | |
|----------|------|-------|
| 1. 序 曲 | 記念祭歌 | コーラス部 |
| 2. 開会の辞 | 文化部長 | 川添進一郎 |
| 3. 学校長挨拶 | | 前川誠一 |
| 4. 校歌斉唱 | | 全 員 |

II 公 演

その1 (3日)

1. 劇 “消えたパークシャ”(1幕1場) 有志

<Staff>

演出	丹 治 千鶴子	早 川 堯 夫
装 置	近 藤 山 祐 子	後 藤 本 光 永 子
	龜 秋 田 芳 野	松 植 松 内 孝 子
	鴻 池 田 良 夫 也	竹 加 賀 桂 由 美 子
照 明	北 山 隆 康 三 介 輔	福 田 邦 弘
	大 青 山 山 康 大	吉 崎
	挽 地 大	

<Cast>

半 作 植 月 照 雄	おかめ	岡 田 敬 子
紋 十 鎌 倉 正 文	おとび	福 田 由 美 子
権 吉 湯 谷 拓	駐在巡查	辻 田 俊 六

2. 日本舞踊 “祇園小唄” 中村幸子 秋山作代

3. 研究発表 “山への招待” 山岳部

“化学反応と検出” 化学研究部

4. バレエダンス “クニヤン” 小野寺玉枝 吉田和子 吉見尚子

5. 劇 “轍”(1幕1場) 有志

<Staff>

演出	奥 公 一	効果	小 原 敏 男
装 置	溝 口 達 雄		内 藤 卓 司
照 明	藤 原 敏 之	衣 装	村 上 共 栄
	竹 内 章 夫	小 道 具	洪 谷 武
	平 沢 庸 行	舞 台 監 督	殿 山 勇

<Cast>

鈴木(浮浪者A)	島田 隆之	守田(演出)	矢田 洋
柴田(浮浪者B)	大仁 洋	藤本(照明係)	岡垣 憲一
谷口(三島)	奥 公一	若山(衣装係)	洪谷 武
山口(駅員)	岡 忠史	大竹(効果係)	殿山 勇
近藤(新聞配達)	村上 共栄	その他乗客数名	

——昼 食——

6. 英語劇 “舌切り雀”(2幕5場) E・S・S

<Staff>

演出	金子 紘子	小道具	丹 治 千鶴子
装 置	橋 本 泰 一	効果	今 井 敏 雄
照 明	橋 本 泰 一	舞 台 監 督	金 子 紘 子
衣 装	舟 越 千 鶴		

<Cast>

Sparrow (princess)	泉 智恵子	Sparrow A	内田 富男
Good old man	中之庄谷保男	” B	向谷 宣子
Good old woman	田島 洋子	” C	堀田 朋子
Bad old man	今井 敏雄	” D	出嶋 都
Bad old woman	坂本 恵子	” E	坪内 洋子
Princess's Father	森本 潔	” F	清田 剛
Princess's Mother	西田 律子	” G	岡本 章義

7. 日本舞踊 “子 守” 中村幸子

“おてもやん” 秋山作代

8. 劇 “罨の中で”(1幕2場) 有志

<Staff>

演出	斎 藤 貞 幸	小道具	山 口 明 美
装 置	増 整 市 郎	効果	下 沢 美 也 子
照 明	明 比 真 一 郎	舞 台 監 督	広 江 正 彬
衣 装	千 草 美 紗 子	プ ロ ン プ タ ー	岩 本 邦 子

<Cast>

田代	田中	仲彦	丹野	新実	紘三
武部	川添	進一郎	依田	高津	孝作
勝問	田中	村舟	兵	梶川	山田

9. バレエダンス “花の妖精” 寿賀美保
川越百合子

10. 劇 “乞食の歌” (2幕2場) 演劇部

<Staff>

演出	近森	啓祐	浅田	宣子
装置	野上	雅子	効果	熊谷久美子
	木寺	俊博	織田	鏡子
照明	中山	政幸	舞台監督	柴田紘一
衣裳	伊藤	美恵子	協力	コーラス部
小道具	住田	倅子		北山隆

<Cast>

朗読者	野上	雅子	ふえ	八木達子
重兵衛	小堀	忠彦	三平	大谷省三
音松	石井	浩		

その2 (4日)

1. 劇 “轍” (1幕1場) 有志

2. ピアノ独奏 独奏 白井素子
ソナタ ベートーベン作曲

3. バイオリン独奏 独奏 登坂美智子
伴奏 坂永元子
ノクターン ショパン作曲
ロンド シューベルト作曲

4. 混声合唱 コーラス部
うぐいす メンデルスゾーン作曲
なだれ 下総院一作曲
お爺さんの古時計 ウォック作曲

5. バレエダンス “花の妖精” 寿賀美保
川越百合子

6. 箏曲 箏曲部
明日・水滴 宮城道雄作曲

7. フルーツ・箏合奏 琴 神場康子
フルート 北山隆
春の訪れ 宮城道雄作曲

8. ピアノ独奏 独奏 竹永元子
華やかなる円舞曲 ショパン作曲
即興曲 ショパン作曲

9. 独唱 若木明雄
トリステュシア トステイ作曲
アマリリうるわし カッチーニ作曲

10. フルーツ独奏 独奏 北山隆子
伴奏 北野山口
アルルの女より ビゼー作曲
ソナタよりポロネーズ ベートーベン作曲

11. 混声合唱 校内合唱コンクール優秀クラス

12. 吹奏楽 器楽部
祝典行進曲 岡伊政磨作曲
ベルシャの市場 ケテルビー作曲

—昼食—

13. 英語劇 “舌切り雀” (2幕5場) E・S・S

14. 日本舞踊 “祇園小唄” 中村幸子
秋山作代

15. 研究発表 “兵庫県” 地理研究部

16. バレエダンス “クーニャン” 小野寺玉枝
吉田和子
吉見尚子

17. 劇 “乞食の歌” (2幕2場) 演劇部

Ⅲ 閉会

1. 閉会の辞 文化部经理 浦川金三
2. 終曲 自治会歌 金員

閉会宣言

公演の部解説

☆劇 消えたパークシャム (伊藤貞助作) 有志

ちょっとしたうわさをもとで引き越こされた、ある片田舎での出来事である。大切な黒豚がいなくなったので、持主の紋十は血相をかえてさがしまわっている。それを聞いたうわさ好きのおかめが、その黒豚を運んでいく盗人を見たという。それによると、村でも模範青年といわれている権吉が紋十の娘のおとびと、リヤカーで夜中に連れだしたということらしい。紋十は自分の娘がそんなことをしてかしたので、カンカンに怒ってしまふ。そこへ駐在の巡査も現われるが、先刻から聞いていた半作も半信半疑。権吉の言葉で、それは黒豚ではなくて、日頃から問題のある黒犬であったことが一応わかるが、黒豚はまだ戻らないので紋十はしよげている。が、権吉とおとびによって逃げた黒豚もつかまる。さて、いい加減なニュースをつくり上げたおかめへの罰は……？そしてこの若い二人へのほうびは……？

☆研究発表 山への招待 山岳部

低い山といつてあなどってもいけないし、高い山を恐るる必要もない……というような登山の心得を常に抱きながら、われわれ山岳部員は今まで数多くの山に接してきました。重い荷物を背負ってまで山に登る、そのどきどきおもしろいのだろう、という疑問を持っておられる方も非常に多いと思います。そこで山に登る者だけが味わえる喜びを、みなさんにも、ぜひ味わってみたいと思います。今年は槍ヶ岳・奥穂高へ向い、奥穂高より徳本峠——鳥々と、上高地——鳥々の二コースにわかれて、夏山の味を十分に満喫しました。その時の山の美しさ、けわしさをスライドにとり、他に冬山、春山のスライドをも含めて映写し、みなさんに少しでも山のよさというものを味わってみたいと思っております。

☆研究発表 化学反応と検出 化学研究部

まさに原子力時代に入ろうとしているのであるが、われわれは何か「原子」と聞くと甚だ日常生活に縁遠いように思いますが、われわれ自身の体は数千億、いやいや数千兆個以上の「原子」からでき、そしてわれわれは「原子」を食べ、「原子」の上にも寝たり歩いたりして聞くと不思議にかんじるかも知れない。では一体「原子」はどのような構成され「原子」がどのように結びついて物質を構成してゆくのであろうか？又いろいろな化学反応が起こったことをどのようにして検出するのであろうか？以上のことを実験をしながら説明したいと思ひます。

☆研究発表 兵庫 地理研究部

私達の住む兵庫県は、あらゆる時代における日本の重要な地位を占めています。私達は兵庫県に関する関心と知識がうすく、少ないのではないでしょう。兵庫県は大阪府に隣接し、阪神工業地帯を形成し、しかも、工業地帯の大半は県下に属しており、関西の中心であるといつても決して過言ではありません。地理研究部ではこのように偉大な郷土を少しでも多くの人に正しく理解していただくために、部員の集めた数々の資料を中心に、スライドを使用し、わかりやすくまとめました。この研究発表は必ず、皆さんに兵庫県を再認識していただくのに、充分であると思ひます。しかし、研究発表では、時間も限られており、私達としては存分に発表することができません。しかし、231号教室(新館3階)の展示会場までおいで下さい。皆さん方に満足されるようわたくし発表しております。

☆劇 報 (水野文雄作) 有志

毎日の新聞の片隅に、必ずといってよい程、若者達の自殺行為の記事がのっている。この悲惨な事実を、一体どう解釈したらよいのだろう。今流行の現代病の一つの現れとするには余りにも惨酷な出来事であるし、これを、大人でもなく子供でもない。そんな中途半端な世代の若者達の唯一つのレジスタンスであると考えられるもの、何か割り切れないものがある。彼等の遺した言葉を借りれば……彼等を取りもっていく腐敗した社会への不信、そんな社会の中にあつて何んか抗するところもなく、ただ自分の生のみを執着している大人達への反抗というようなことになるようだが、どうもそれを軽々しく死の世界へ逃避した彼等の原因と結びつけることには、何かしら、わだかまりを感じるのだ。精一杯のレジスタンスのようであつて、事実はそうではないように思える彼等の死に

ついて、私達は何か意義を見出そうと努力したのだが、遂に一カケラも見出すことができなかった。
「轍(わだち)」とは「車輪のあと」という意味である。
大部分が素人の上、練習期間が短かつたので、未熟ではあるが、かならずや共鳴を得ることができるとも信じます。テーマは夜間農業高校生の自殺を扱ったものでありますが、劇的効果をねらつて、ここには書かないことにする。

☆英語劇 舌切り雀 (日本昔話) E・S・S

2、3年前から文化祭の劇に日本の昔話を英語になおして見たら、と言われて来ましたが、実現されませんでした。今年もいろいろと欧米の物語をさがしましたが、劇に適當だと思われぬものは、今までに演じられたりして来ましたので、いろいろ考えた末に「舌切り雀」だつたら原作を少し変えれば多人数が出演できるので、一度ためしにやってみようということになりました。
あちこちの本屋に「舌切り雀」の絵本はないかといろいろ聞いてまわりましたが、いざ、さがすとすると「桃太郎」や「金太郎」はあつても、求めているものはなかなかありません。やつと見つけたと思つたところ、なんとあなたが読みになるのですか？はい私です——全くお恥ずかしい限りです——自分達で脚色し、肉をつけ、そして検討に検討を重ねて、会話形式の英語を2週間程度でやつと作り上げた時のほんとうにうれしかったこと。最後に先生に見ていただいて、この劇ができました。何しろ弱い頭をしぼり上げただけでなかなか難しい語句は勿論使えませんし、長い文も作れません。そのついでで御覧下さい。

☆劇 翼の中で (柴田北彦作) 有志

誰でも、罪への誘いと織っているという立場から、罪を犯した生徒を特殊視しないで罪を犯した者でなければ知り得ない苦悩を表現して見たいと思つたのである。生徒しか登場しない、この劇に盗みの否定も教訓的な高所から為されるのでなく、そうして、生徒の悲しみの場から醸されるようにしなければならぬ。この芝居は生徒の暗い面を扱った単なる風俗劇にはしたくない。泥棒に泥棒を演演させても劇ではない。取材は極めて近い所でありながら、現実の生活と生のかまやつなげることをしてしないで、別個の独立した普遍的な世界を作らねばならない。——中略——日常の滔々たる溜俗の流れの中に生活を実際に批判して行く助けとなれば幸いである。——(作者の言葉)——
私達は、今現在、青少年問題が深刻化しつつあるというのに、余り身近な問題として感じないようである。一つには環境のせいもありましようが、私達がそういう問題に対して感じない神経をもととしたり、何か特別な世界での出来事と考えていることにもあるように思ひます。
私達の心の中にある、弱いもの、それが弱いくせにスリルとサスペンスを求めたがる悪いと知つていながら、皆がやる、ということていい訳をつけ、露見したとたん、自分のせいではない、という。こんなことが案外身近な所にあるのだ。

☆劇 乞食の歌 (津上忠作) 演劇部

かつて「五木の子守歌」を、そしてそれが秀吉の朝鮮戦役のとき歌われたのだ、という説を聞いた時——(その頃、この歌が今ほど大衆化されていなかった)——何か、俗にいう日本民謡の子守歌とはちがう、その頃の民衆の息吹といおうか、あるいは現代という抵抗とでもいおうか、つまり日本の伝統の中にある民衆の真実の声といえるものを新しい現実のように強く印象づけられたことが忘れられない。この戯曲は、私の知る限り歴史的環境に忠実に、また、その想像の中に描こうと試みたものではあるが、素材そのものがはつきりした史実にもとづく——という意味での歴史劇ではないし、むしろ、現実に——(これを書いた頃、その時は、私達の周りに、朝鮮戦争が世界的規模に拡がる気配と不安が色こく漂っていた)——強く影響されていることは否めない。いわゆる戦争の悲劇のいろいろと知り、その忌むらしい記憶は拭いさうにもされない私達。そして、終戦後の混乱と動揺の中から、ほの暖かい平和を期待する多くの人々の欲求と共に、私は二度と戦争の悲劇を繰返したくないと強く思い、私より後の時代に青春を生かぬ人々に、一言も戦争に口出しできずに死んだ多くの青春の群——(それは徴兵検査、徴用、学徒出陣を「国民総動員」の名のもとに、あたりまえの倫理道徳としてうけとらねばならなかった)——の埋れた真実の声を何らかのたてでよみがえらせたかった。そんな、常々思つたことが、この歌にひかれて、このようなものを書かせたのだから。——(作者の言葉)——
この劇を通して、われわれ若者各々が考えねばならぬことが多々あるようです。——日本の現実社会を——それだけで、この劇をやった価値が十分であると信じます一演者

展示の部解説

☆自治会展(図書室)

芦高自治会がより理解できるように、二つのアンケートを中心にを行います。その一つは「外部から見た芦高」と題して附近の人、先輩等によるもの、もう一つは他校自治会によるもので約十数校を比較し、本校自治会を浮彫にしたいと思います。その他異った方面での予算、写真を中心とした一年の歩み等です。

☆図書展(図書館)

例年と少し型式を変え、俳句を地方別に分けた全国俳句めぐり、図書館掲示板にはったものも含めた写真ニュース、校内生徒のアンケートを参考にした各統計、他校図書館と本校との比較等を展示します。

☆化学研究展(211号教室・洗染教室)

今回は、染料・石油(石炭)・樹脂を研究題目とし、展示室においては実験した各種の製品及び各社より取りよせた製品見本を展示し、他に化粧品、ケミカルガーデン・呈色反応を展示します。実験室では、尿素樹脂・サッカリン製造・染色に関する実験・アルギン酸繊維マジックケミカルを行います。

☆写真展(221号教室)

今年は型通りの展示会をやめて、フォトグラム、特殊陰画その他によって、みなさんを写真だけにある世界へさおもうと思っています。体育祭時の写真、クラブ写真の販売をいたしますから御利用下さい。

☆レコード・コンサート(220号教室)

昨年にひき続きレコードコンサートを、二、三、四の三日間220号で開きます。音響効果に重点を置きましたので、低音高音共に音域を広く取り又音量音質も十分調整しました。レコードは軽音楽、クラシックを初め多種類の曲を集め十分な音響で楽しめるよう部員一同努力しました。文化祭には放送部主催のレコードコンサートへどうぞ。

☆地理研究展(231号教室)

兵庫県展と題し、身近な存在である我が県の実態について調査しました。まず内容は産業、観光、県政、財政、歴史の多方面にわたって部員が分担して調べました。産業方面においては、工業方面に重点を、歴史では近世に、財政、県政においては最近の我が県の進況状態など、わかりやすく親しみやすいように注意を払いました。

☆書道展(230号教室・作法室)

過去の展示会とは趣を変え、作品の書体、大きさ、内容の変化等に特に注意を払った展示会場を形成します。部員作品、野村先生をはじめ有名書家、先輩作品、他校書道部の賛助作品等を展示します。会場で席上揮毫を行いその作品も並べる予定です。

☆茶道展(作法室)

今年は茶花をとりあげました。茶花とは名の通り、お茶に生ける花の事です。壺とか籠、こどう又はお軸等によっていろいろと変えていきます。お茶を召しあがらない方もお気軽に御覧下さい。なお茶葉券は例年通りに販売しますから御利用下さい。

☆華道展(作法室)

今年の展示は私達が練習して参りました小原流生花のうち、盛花、瓶花とも直立型、傾斜型、対称型を部員が担当していきます。戦後生花の分野が改善され、小原流も写実的なもの他に非写実的なものも取り入れられました。私達も流儀だけにとらわれず、自分の感情も入れていきますから、どうぞごゆっくり御観賞下さい。

☆天文研究展(生物第Ⅱ教室)

世界は宇宙時代に入ろうとしています。当部も諸君にそれに対する理解と関心を持ってもらうために、まず実現近い月世界旅行を主に、太陽黒点観測データ、神戸海洋気象台生駒太陽観測所見学報告、流星塵等を展示します。月世界旅行については、月面パノラマに、月ロケット・月船・宇宙ステーションを記し展示説明する予定です。

☆生物研究展(生物第Ⅰ教室)

微生物を応用して、食品の質を変えるという事をやってみました。ブドウ酒、納豆、みそ、しょう油等の市販されているものとの比較、又醗酵をおこす微生物の研究、その他ショウジョウバエの遺伝の実験、カビとホルモンの関係、芦屋住宅公園の建設場所から出た化石、六甲山上の植物標本、金魚、熱帯魚を展示します。

☆山岳展(314号教室)

今年は例年と少し変えてみやすいように心がけました。例年やっていた夏山写真・登山道具等は少し変えた方面から展示しその他山の食糧を作って試食してもらいます。又講堂において冬春夏のわが部の活動ぶりを見ていただくつもりです。

☆文芸展(314号教室)

初めての展示なので要領を得ませんが、「万葉集を」中心に研究してみました。天皇制壬申の乱、防人の歌、農民の歌の四つにわけ、これらを組み合わせて年表にまとめました。他に有名な歌が生れた場所を地図を使つての説明、他校文芸部の機関紙も展示します。

☆史学研究展(315号教室)

今年は交通史をテーマとして取りあげ、交通を通して時代の流れを見ようと思い、資料による模型を作製しました。特に江戸時代の交通に重点をおき、箱根の関所、草津の本陣等の模型を展示します。

☆鉄道研究展(325号教室)

わが部では、第一に全長60mに及ぶ大レイアウトを敷き、小田急、京浜、阪急、阪神国鉄等の模型60輛を休みなく運転します。第二にわが国の私鉄の主な車輛を写真展示又

第三に実物の部品を展示し、その役割りをくわしく説明します。その他運転技術等をみなさんにお教えしたいと思います。どうか御期待下さい。

☆物理研究展(324号教室)

多方面にわたっており、まず普段の太陽熱を利用していないことに目をつけた太陽灯三台、ピンホールを受け継いだスリットカメラ、赤外線写真の魔力、電気ギターに電子オルガン、ウイilsonの霧箱、時計を診断するウォッチマスター、打てば必ず当る鉄砲磁力線応用の密度測定器、近よれば見えなくなる幻の花、他にスクーターとエンジンを使った自動車などの展示をします。

☆数学研究展(323号教室)

例年は学校にある器具を並べていたものを今年は、部員が直接に手を下して作りあげた数学器具を展示します。うまくできていませんが一度使ってみて下さい。その他摂丹地区模擬試験の他校との比較、例年好評の懸賞も形式を一変して出題します。

☆飼育展(322号教室)

初めての試みですが、現在クラブで飼っている鳩、小鳥、兎、熱帯魚、和魚の展示、部誌「はばたき」の展示、鳩の種類や珍しい小鳥をスライドでおめにかけます。

☆郵便友の会展(322号教室)

郵便友の会では、海外及び国内の手紙の展示、海外絵葉書の展示、友の会の説明、郵政に関するポスター、沖繩の霊石の写真、友の会ニュースの展示。

☆被服研究展(321号教室)

部員及び家庭科選択の生徒の心のこもった作品を展示します。フランス刺繍、レース編、ローケツ染、人形等の手芸作品並びにワンピース、ジャケット、コート等の洋裁作品の色とりどりの作品が、あなたの目を楽しませる事と思います。又昨年と同様に今年もエプロン等のバザーをしますからよろしく。

☆美術展(美術教室・書道教室)

美々美とは一体何でしょう。美とは美しいものである。そうです絵は美しいのです。しかし中には絵がわからない又きたないという人がありますが、当部員の個性あふれる油絵、水彩画、デッサン、クロッキーの中にひそんでいる美をみつけて下さい。

☆映画研究展(書道教室)

今年は各方面にわたるように考慮しました。まず映画のできるまでを詳しく説明し、それに関連して特にフランス映画史、歴代アカデミー賞受賞作品の一覧表と監督紹介、年度別優秀映画ベスト10の展示、その他映画主題歌コンサートを行う予定です。

バザー売店御案内

記念祭の一端を飾るバザーを今年も下記のように計画致しました。今年は衛生面及び利用者の便宜等を充分考慮致しておりますので御利用願います。

9月30日	運動場南側	……寿司・飲物・菓子類・パン・アイスクリーム
10月1日	126号	……菓子類・寿司・飲物
	133号	……アイスクリーム・飲物・パン
	中庭(北)	……うどん・そば・カレー
10月2日	126号	} ……10月1日に同じ
	133号	
	中庭(北)	} ……うどん・そば・カレー
	111号	
	126号	……菓子類・パン・飲物
10月3日	133号	……飲物・アイスクリーム
と4日	中庭(北)	} うどん・そば・カレー・飲物・アイスクリーム
	111号	
	中庭(南)	……楽焼
	210号	……手工芸品
	313号	……寿司・ぜんざい・カルピス・紅茶・ケーキ

なお、今年的手工芸品バザーは皆さんから募集致しました材料をもとに、一部の方々に製作部面を担当していただきました。当日は展示即売致します。記念祭前に販売致しました前売券は、上記の5日間で御使用願います。飯類、麺類は当日の受付にて前売券を食券とお引換え下さい。

役員表 I

係	顧問	執行委員会	記念祭委員
総務	熊谷	堀本、斎藤、岩本	
会計	近藤	千草	
前夜祭	熊谷	山田	平、鈴木
体育祭	伊東	中村	植田、小林、津田、山下、殿山、岡、伊藤、湯谷、岡田、湯浅
鑑賞会	松本	田中	中谷、仁科
招待音楽会	奥田、出口	岩本	青野、後藤、松本、中島
合唱コンクール	出口、奥田	山口	鶴本、川畑、山上、寺井、桑江
校内音楽会	出口、奥田	下沢	臼谷、額額、岡本
文化祭	浦川、川村	川添	明比、門川、川越、片山、井上元
終幕祭	忽那	新実	山田 ¹ 、溝口、天後
自治会展		山田	野村、小原、藤田、大仁、尾藤、井川戸沢
印刷物		高津	井手、井伊
バザー	浦川、藤原山本	岩本、千草	立田、草部、北山、後藤、村上、加集
デコレーション		新実	室崎、溝口、村井、今井、重村、手島西岡、安武、大岡、井上 ²

役員表 II

(大字は係主任)

体育祭

係名 (リボン)	職員名	担当部名	生徒名
総務 (茶・白色)	衣笠、丸茂、千速、山田、李谷、井上 ¹ 、深井、浦川、伊東	執行委員会	堀本、斎藤、岩本、千草、山口、山田、中村、川添、高津、田中、下沢、広江、増埜
会計	近藤、伊藤		千草
進行 (黄色)	小松、岩村	体操	中村、森
審判 (藍色)	多田、忽那、石田、奥田、津本、野間、中西、永井、平部、檜垣	陸上 バスケット 水泳	小林、今井、磯島、植田、西川、鈴木、山田、浜田、千川、川田、早川
演技誘導 (藍色)	桂、松本、安田、佐野	バレー 卓球	伊藤、大封、土井、平田、松村
記録 (黄色)	野村、中原、佐伯、碓井、谷川、津村	バレー女子	湯谷、谷垣、野手、星野、七条、大河、福井、広江
会場 (藍色)	大松、金崎、岡村、近成塚本	サッカー 道野岳	長沢、高浜、松山、上野、鈴木、岡、岡垣、田坂、車谷、井上、林、米谷、山本、竹原、竹内、出井
賞品 (茶色)	藤原、寿賀、金川	バスケット 女子	岡田、岩崎
召集 (赤色)	津田、山口、前嶋、川村、井上 ² 、古川	硬野 ラグビー	津田、広瀬、安藤、種、林、吉宗、岡野、西岡、松永、尾崎、藤井、天野、藤浪、横関、谷、山坂、日置、丹羽 (各クラス代議員)
用具 (緑色)	新堀、木田、前田、岡崎	軟硬 柔道	山下、加古、小椋、清家、天後、宏林、岡本、殿山、渋谷、佐藤、上坂、湯川、森、石黒、平野、青山、西原、湯浅
放送 (スグ茶色)	岩田、出口		(放送部)
受付接待 (藍色)	千葉、立花、山本、河野、鷲尾、柳沢、三木、日野、福山、大友	軟庭女子	後藤、亀山、大藤、黒田、杉本、灘井、青木、岡田、金本、草部、酒井
救護 (白色)	土井、大橋、富永	卓球女子	北山、高山、静野、内田

役員表 Ⅲ

(太字は係主任)

鑑賞会、音楽会、文化祭

係名 (リボン)	職員名	生徒
総務 (茶、白色)	衣笠、千速、山田、李谷、井上良 深井、熊谷、伊東、浦川、丸茂	堀本、斎藤、岩本、新実、川添、 中村、山田、千草、山口、高津、 田中、下沢、広江、増埜
会計	近藤、伊藤	千草、原田
進行 (黄色)	奥田、出口、山口	川添、田中 ^中 、下沢、村井、田中 ^中
舞台管理 (青色)	川村、古川、木田、岩村	村井、田中、平野、近藤 ^中 、土井 河合、古城、井上、山上、秋元、 小林、松岡、増埜、菱田、北川、 松本、広江
放送 (スシ茶色)	岩田	南、田中、太美、銅、尾藤、福田 片山、富士崎、井川、広田
管内 (桃色)	(校内) 多田、松本、中原、近成 石田	(講堂) 小山、河合、政田、中井 小林、南北、小西、中屋 西里
講堂 (赤色)	(講堂) 寿賀、前田、新堀、大松 佐伯、金川、永井、忽那 碓井、桂、安田、塚本	(展示会場責任者) 児玉、南、丸 山、飯田、河原、今福、内山 尾崎、中沢、田中、渡辺、藤 原、秋元、柏瀬、平松、海見 黒田、吉村
バザー (緑色)	(展示会場) 野村、中西、前島、 岡村、檜垣、野間、谷川、 金崎、井上 ^中 、岡崎、津田、 津本	(バザー各係責任者) A 草部、北山 B 加集、中西、保田 C 飯田、早田、立田 D 村上 E 後藤、中沢、宮前
	(バザー会場) 藤原、山本、佐野 辻田、柳沢、伊藤	(受付) 水田、藤本、白井、重田
	(図書館) 小松、津村、平部、河 野、鷺尾	
受付、接待 (紺色)	千葉、立花、三木、日野、福山、 大友	徳矢、乾、坂上、宮内、土方、盛林 長沢、柿原、丹羽、松永、橋本
救護 (白色)	土井、大橋、富永	亀山、佐藤、川上、大鐘

記念祭歌

作詞 岡本 仁
作曲 池尻 景順

moderato



しじんダンテの じよー ねーつが



いまわがーむねー にたか なりぬ あし



こうせいが せん とーに すす



めーにほんの ルーネーサシス

1. 詩人ダンテの情熱が
今我が胸に高鳴りぬ
声高生が先頭に
進め日本のルネサンス
2. 東に西に芸術を
めづる心に隔てなし
飛鳥仏のくちびるに
ギリシャの神の微笑あり
3. 自由を右手に左手には
理想をかざす文化祭
アポロの神に盃を
高く捧げて乾さんかな
4. 美の祭典のかかり火を
今宵囲みて歌うべし
我が青春に幸多し
我が学園に幸多し

[表紙図案 3年B組 小堀忠彦君]